



仔猫

仔猫の食餌

成長期の仔猫は、成猫に比べて多くのカロリー（エネルギー）を必要とします。生後6ヵ月までの間、仔猫が必要とする体重単位あたりのカロリー量は、成猫の2倍にもなります。6ヵ月を過ぎると、仔猫のエネルギー必要量は減っていきます。



栄養は、仔猫が正常に成長し、やせ型の健康的な体型を維持できるように、それぞれの仔猫に固有の栄養要件を満たす必要があります。仔猫の体型を（Purina ボディコンディションシステムを使用して）自宅で定期的にチェックし、獣医の診察時にはボディコンディションスコアと体重の両方を評価すべきです

キーメッセージ

何を与えるべきか？

- 仔猫には、栄養的に完全でバランスのとれた 成長期用の食餌（仔猫用）が必要です。この食餌は、骨格が完全に成熟するまで（通常は1歳まで）継続する必要があります。
- 仔猫は、成猫と同様、フードの粒の形状、香り、味、食感、温度に非常に敏感です。そのため、室温のウェットフードを与えることが推奨されます。
- さまざまなフードを仔猫に与えることで、次のメリットが得られます。
 - 食餌の固定（特定の食餌のみを食べること）を防ぐ
 - 将来食餌の変更が必要になった場合に対応できるようにする
 - ウェットフードを与えると、水分摂取量が増える
 - 歯の健康を促進する。ドライフードの場合は研磨作用があり、歯垢の除去を助ける
- 仔猫には牛乳を与えないでください。仔猫はラクトース（乳糖）を消化する能力がないため、下痢や消化不良を起こすことがあります。

(次のページに続く)

キーマッセージ (続き)

いつ与えるか?

- 猫は、1日を通して少量を頻繁に食べることを好みます。最成長期の仔猫は、自分でカロリー摂取量を制御できます。ただし、肥満のリスクを最小限に抑えるために、給餌量の管理が推奨されます。
- 仔猫が6ヵ月になるまでは、1日に最高4回まで少量ずつ給餌する(1日の給餌量を4回に分ける)のが理想的です。
- 6ヵ月を過ぎたら、1日2回の給餌で十分です。体重の過剰増加のリスクを最小限に抑えるために、仔猫の月齢に応じた給餌量の目安を確認し、体型をチェックしましょう。

どのように給餌するか?

- 給餌量を決める際のスタート地点として、フードのパッケージに記載されている給餌量の目安を利用します。給餌量は、最適な体型を維持するように調節してもかまいません。
- キッチン計量器(クッキングスケール)を使用すると、フードの重さをグラム単位で計ることができます。ドライフードの給餌量の目安が250ml(8オンス)の計量カップ単位で示されている場合は、必要なフード量に合ったドライフード(または成分)用の計量カップを使用します。
- 仔猫には、その仔猫用の給餌器を使ってフードを与えます。多頭飼いの場合は、家の中の複数の箇所に給餌場所を分けて設け、対立や威嚇が起こらないようにします。
- ウェットフードを与える場合は、長時間フードを放置しないでください。新鮮なフードを頻繁に与えることで、仔猫がフードを受け入れる可能性を高め、細菌の繁殖リスクを低下させます。
- おやつや他のフードはすべて、カロリーの増加につながることを忘れないでください。

その他のリソース

Armstrong, P. J., Gross, K. L., Becvarova, I., & Debraekeleer, J. (2010). Introduction to feeding normal cats. In M. S. Hand, C. D. Thatcher, R. L. Remillard, P. Roudebush, & B. J. Novotny (Eds.), *Small Animal Clinical Nutrition* (5th ed., pp. 361–372). Mark Morris Institute.

Case, L. P., Daristotle, L., Hayek, M. G., & Raasch, M. F. (2011). *Canine and feline nutrition: A resource for companion animal professionals* (3rd ed.). Mosby Elsevier.

Lawler, D. F. (2008). Neonatal and pediatric care of the puppy and kitten. *Theriogenology*, 70(3), 384–392. doi: 10.1016/j.theriogenology.2008.04.019

Linder, D. E. (2017). Diets for each life stage. *Clinician's Brief*. <https://www.cliniciansbrief.com/article/diets-each-life-stage>

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。